

# 「Smootea」を開発

## 同志社女子大生 お茶で一休みを

京田辺市特産の玉露をPRしようと、同市にキャンパスを置く同志社女子大学の学生たちがオリジナルの飲み物「Smootea(スムージー)」の開発を進めている。このほど、市職員らを招いて試飲会を行った。【鈴木啓子】

取り組んでいるのは情報メディア学科の学生7人。授業の一環としてパーチャルカンパニー(架空の企業)を立ち上げ、毎年地域貢献につながる事業を展開するとともに、市の活性化策を探っている。

7人が所属する架空企業の名前は「riiaQ(リラク)」。iとQは緑色で、玉露の緑と同市が目指す都市像「緑豊かな田園地帯」を表現し



今回は、自分たちと同じ世代をターゲットに、若者に人気の健康ドリンク「スムージー(Smoothie)」と「玉露(tea)」をかけた合わせたオリジナルの飲み物「Smootea(スムージー)」を考案した。果物の酵素を多く含むことで、疲労回復や玉露によるリラックス効果が期待できるといふ。

キアラ館に、商店街事業共同組合の田原剛理事長や市職員ら約10人が訪れた。学生たちは持参した果物や牛乳などの材料と玉露を用意したレンピ通りにミキサーで混ぜ合わせ、Smooteaを作った。職員からは「口当たりが良くておいしい」「飲みやすい」などと高評価の意見が出た一方、「バナナの味が強く、玉露の味が薄い」といった意見も出た。

生(20)は「貴重な意見が頂けました。私たちは試行錯誤を繰り返して、これでいけると思っただけで、そうではなかった。内輪だと同じ意見に

「生キャラメル」や「カフェなどで販売する」と話  
「田辺ナスの無添加」という。